

No. 156

昭和38年1月1日発行

昭和27年7月10日

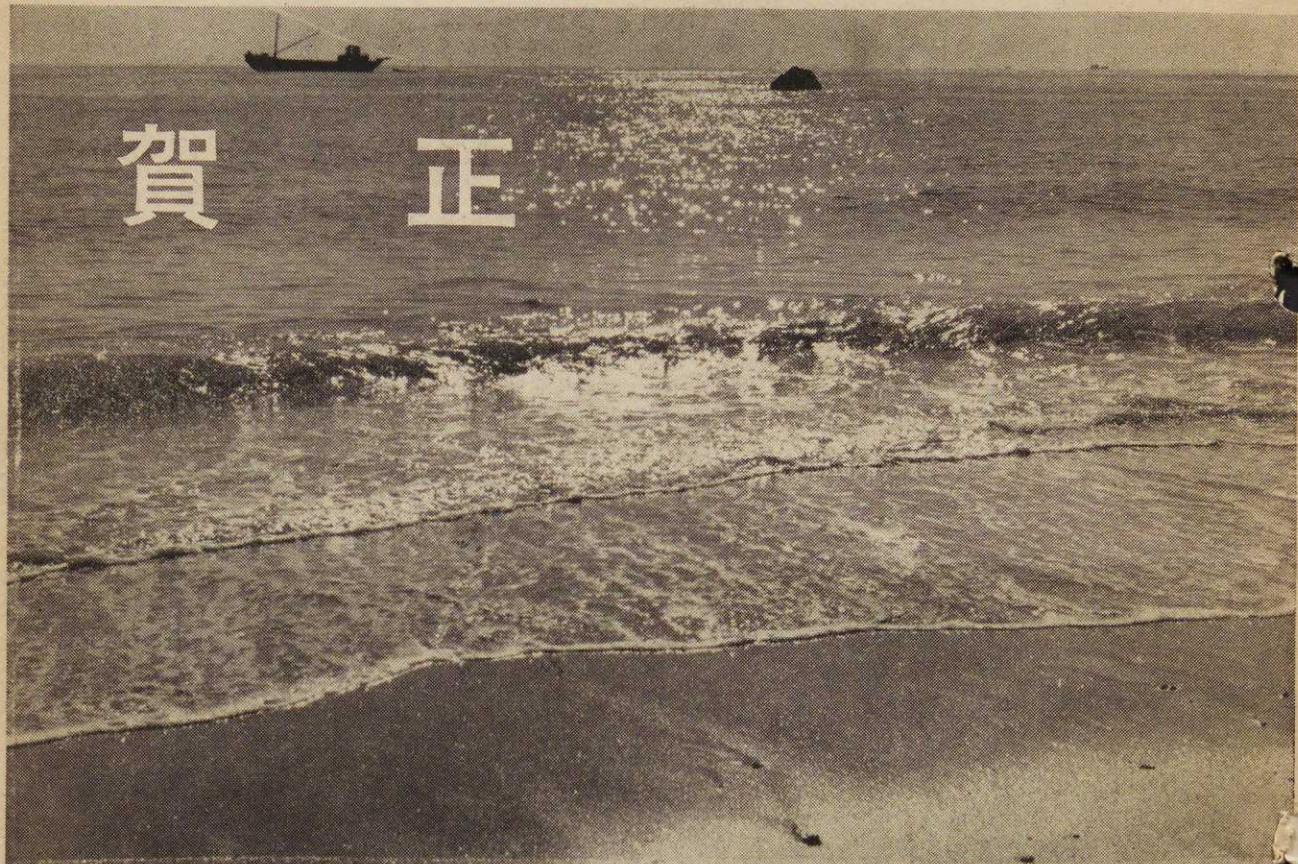
第3種郵便物許可

毎月回11日発行

発行所 焼津市役所

編集兼 発行人 加藤 舜

定価 2 円



賀 正

年頭之辞
焼津市長大石虎之助

輝かしい希望に満ちた昭和三十八年を迎えて、皆さまに心からおよろこびを申しあげます。去る年昭和三十七年を振りかえつてみると、誠に多事多難でありました。

特に私たち焼津市は財政再建団体とはいえ、極力住民福祉の向上につとめ、しかも着実に返済計画を履行してまいりましたのであります。

さらに焼津市の悲願であつた高等学校の設置につきましても市民の皆さまのご努力により四月一日から県立高校として開校の運びになりました。

また区画整理事業や、七万人を対象とした第二次水道事業の施行、公園施設の拡充、プールの建設、農協合併の実現、都市開発の基礎調査等、すべて市民福祉を目標に堅実な歩みを続けてまいつたのであります。

来る年昭和三十八年の新春を迎えさらに決意をあらたにして、市行政を運営し次のことを実行してまいりたいと思ひます。

基本的には財政再建への努力をはらいつつ、産業基盤の整備に意を用い市民経済の拡大を図ることと、さらに文教施設の拡充強化を大きな柱といたします。

先ず第一に、教育の機会均等の精神から昨年猛運動を統けついに実現した県立焼津高等学校を立派に開校するよう最大の努力をはらう覚悟であります。

第二として、輸送力増強を目指す焼津駅舎の改築と引込線の延長、そして都市美化と都市構造の整備を図る駅前都市改造事業の実施であります。なおこれに連なる道路網の整備いわゆる一級国道と結ぶ県道の改良舗装、二級国道の建設促進であります。

第三として、焼津市の生命として存在する漁港の整備であり、焼津港第二次修築工事の促進と小川港第二次整備計画の完成であります。

さらに第四として、高度経済成長を期する経済の地域開発、県の第六次総合開発計画とこれに合致する大井川地域総合開発の促進、市にあつては工場立地、工場適地の開発を推進したいと思想します。

その他いざれも重要な施策であります。小中学校のブルーム建設と給食施設の整備、社会福祉事業、農業改善事業、海岸保全事業、市民会館の建設、中小企業対策等の推進に最大の努力をいたす覚悟でございます。市民の皆さまの格別なるご協力とご支援をお願い致しまして、年頭の挨拶といたします。

ことしは地方選挙のとし

年頭のご挨拶

焼津市選挙管理委員会
委員長 岩本善吉

数年前から、選挙公明運動は、全国各地において、発奮運動を展開し正直、きれいな選挙を行なわなければならぬという気運が盛りあがりつつあります。がさきの参議院通常選挙におきましては特に投票総参加運動と、買収供応追放運動が強力に展開され、相当の成果をあげたよう見受けられます。反面、悪質な選挙違反も、かなりあることは、有権者の実情にかんがみ選挙公明化運動の必要性を痛感するものであります。

記者クラブ竹田久直

小池けい

鶴橋千代

山梨ひろ子

坂本

石津北

中新田

三ヶ名

下小田

花沢

小土

城之腰

石津

和田

岡本勝司

新屋

中新田

原崎敬次

工會議所小原作次郎

焼津北

中野志づ

浦田美代

坂本

石津

中野志づ

鶴橋千代

山梨ひろ子

坂本

石津

中野志づ

浦田美代

坂本

石津

中野志づ

鶴橋千代

山梨ひろ子

坂本

石津

中野志づ

浦田美代

坂本

石津

中野志づ

鶴橋千代

山梨ひろ子

坂本

石津

中野志づ

浦田美代

坂本

石津

中野志づ

鶴橋千代

山梨ひろ子

坂本

石津

中野志づ

浦田美代

坂本

石津

中野志づ

鶴橋千代

山梨ひろ子

坂本

石津

中野志づ

浦田美代

坂本

石津

中野志づ

鶴橋千代

山梨ひろ子

坂本

石津

中野志づ

浦田美代

坂本

石津

中野志づ

鶴橋千代

山梨ひろ子

坂本

石津

中野志づ

浦田美代

坂本

石津

中野志づ

鶴橋千代

山梨ひろ子

坂本

石津

中野志づ

鶴橋千代

